



平成19年いよいよ開幕

秋田わか杉国体

君のハートよ位置につけ

第62回国民体育大会



羽ばたけ横手のアスリートたち

目次

Contents

特集「飛躍」	2
新春インタビュー	10
行政情報便	
○議会定例会市長所信説明	12
○決算報告	
ほか	
情報information	
○お知らせ	20
○いどばたプラザ	
読者の声	24
思えば遠くへ来たもんだ	
○柿崎敬江さん(平鹿)	26
巧(たくみ)	
●越後谷六郎さん(横手)	27
横手遺産	
●狸々の道標(十文字)	28



チーム一丸で挑む地元国体 夢の全国制覇を目指す

少年男子バレーボール

雄物川高校バレーボール部



雄物川高校バレーボール部 細川優樹さん（ほそかわ・ゆうき 2年）

高校バレーボール界で全国にその名をとどろかせている雄物川高校。全国大会出場の常連校で、県高校総体は、平成7年度から12年連続優勝。全国高校選抜優勝大会（春高バレー）にも12年連続で出場している。まさに県下敵なしの存在で、増田体育館で開催される国体少年男子バレーボールには、秋田県代表として単独校での出場が決まっている。

体では、その年を上回る成績が期待されている。指導にあたるのは、卓越した指導力で雄物川高校を常勝軍団に育て上げてきた宇佐美義和監督。宇佐美監督は、「雄物川高校のバレーボール部を指導してきて14年になりますが、今まで一番高いチームが出来上がりました。平均身長の高さは何よりの武器で、これにしっかりと守りが加われば、かなり強いチームになるのではないかとこのチームが実感です。平成8年に指導したチームも素晴らしいチームでしたが、それを超えるチームに育つのではという手応えを感じています。ですから、練習の厳しさも例年以上。私も気合いが入っています」と語るよ

うに、監督が今年のチームに寄せる期待は、我々以上に大きいものがある。現在のチームでエースアタッカーとして活躍しているのは、十文字地域出身の細川優樹さん（2年）。宇佐美監督が「最大の武器は手の長さ。全身にバネがあり、潜在能力はかなりのものがある。厳しい練習の中で、その能力を引き出していきたいと思える楽しみな選手」と話すとおり、185cmの身長とジャンプ力を活かした力強いスパイクが武器の有望選手。細川さんは「練習の中でチーム力を高めて行きながら、地元で開催される国体で優勝できるよう、努力していきたい」と、静かに闘志を燃やしている。



雄物川高校バレーボール部監督
宇佐美義和さん
うさみ よしかず（55歳・雄物川

例年の国体と違い、地元横手で行われる少年男子バレーボール競技。そのメリットを生かした戦いに、宇佐美監督は期待している。「住み慣れた環境、戦い慣れた競技会場、選手のコンディションに与える影響、どれを取ってもこれほど優位に臨める大会はないと思っています。そして何よりも心強いのは、地元の皆さんの大きな声援。きつと選手の背中を後押ししてくれる大きな力になると思います。優勝はねらって出来るものではありませんが、私も指導者として、地元国体は生涯一度きりのものと位置づけ、すべての力を注ぎたいと思っています」。

夢の全国制覇へ。雄物川高校の厳しい練習は続く。

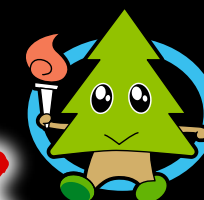


横手市出身の雄物川高校バレーボール部の皆さん。秋田国体に向け、熱のこもった練習が続いている。

待ちに待った平成19年。秋田わか杉国体がいよいよ開幕を迎える。秋田県で国民体育大会が開催されるのは、昭和36年の第16回大会以来、実に46年ぶり。約半世紀の時を経て繰り広げられる熱い戦いに向け、県内各地で準備が進められている。

秋田わか杉国体

戦いの主役である選手たちは、地元開催というまたとない晴れ舞台での活躍を胸に、日々練習を重ねている。今年最初の特集は、秋田県を代表して国体に出場する横手市内のアスリートを紹介し



2007 AKITA

飛躍
HIYAKU
羽ばたけ横手のアスリートたち

■市内3会場で開催 軟式野球(一般B)

軟式野球競技は、一般A(39歳以下)、一般B(39歳以下で過去に国体出場経験がない選手のみ)、成年(40歳以上)の3種別に分かれて行います。横手市では「一般B」が平鹿野球場、大森野球場、スタジアム大雄の3会場で開催されます。ほかに「一般A」が大仙市で、「成年」が大仙市と仙北市で開催されます。



平鹿野球場



大森野球場



スタジアム大雄

「国体野球」の集大成 優勝で有終の美を飾る

成年の部 秋田県チーム監督

久米川儀雄さん

くめかわ よしお(63歳・横手)

久米川さんと国体との関わりは長い。高校を卒業後、現在の羽後交通(株)に入社した久米川さんは、会社が野球部門に力を入れていたため、軟式野球での国体出場を目指し、野球を続けてきた。選手としての国体出場経験はないが、羽後交通野球部の監督やコーチとして、4度の国体に出場。昭和60年の鳥取国体では、監督として3位入賞を果たした。その後も国体秋田県代表チームの一員として活動を

していることから、大会での地の利を生かした活躍が期待される。一昨年まで宮腰野球部の監督を務めていた高橋幸悦さん(41歳・横手)は、選手としての国体出場経験も多く、成年の部の中心選手としての活躍が期待されている。また、佐々木和義さん(36歳・雄物川)は、一般Bの部のコーチとして、国体出場が決まっている。高橋さんは「3部門に分かれた軟式野球競技は、今大会で終わりで、来年からは1部門のみで開催されることが決まっている。当然若い選手が中心となるため、自分にとって

は最後の大会と位置づけている。全力で臨み、ぜひ優勝したい」と抱負を語っている。国体の採点に団体競技の成績が与える影響は大きく、入賞した場合、プレイヤー1分の点数が加算される。野球やラグビーなど、プレイヤーが多い競技の場合、加算される人数の上限は8人だが、仮に野球で優勝した場合、8点×8人＝64点を獲得することができる。このため、どの県でも団体競技の上位入賞には特に力をいれており、わか杉国体でも軟式野球競技の好成績が期待されている。

とになった。地元での国体開催について、久米川さんは「どの国体会場でも感じるのですが、国体の素晴らしいさの1つに、地元の皆さんの温かい声援があげられます。大きな声援は、選手にとっても心強く、選手の力を後押ししてくれるものです。軟式野球は3部門とも県南の開催です。ぜひ会場に足を運んで秋田県チームを応援していただきたい」と市民の声援に期待を寄せている。

「成年の部として開催される国体はこれが最後。長く国体野球と関わってきましたが、私にとっても最後の大会になると感じています。これまでの野球人生を振り返りながら、ぜひ優勝という形で有終の美を飾りたいと思っています」と語る久米川さん。

今大会で3部門に分かれての開催が終了し、来年からは1部門での開催が決まっている軟式野球。前述の高橋さんと同様、久米川さんもわか杉国体が最後の国体出場と考えている。

「成年の部として開催される国体はこれが最後。長く国体野球と関わってきましたが、私にとっても最後の大会になると感じています。これまでの野球人生を振り返りながら、ぜひ優勝という形で有終の美を飾りたいと思っています」と語る久米川さん。



軟式野球

県南の雄・宮腰 代表候補を多数輩出

(株)宮腰デジタルシステムズ

宮腰野球部は、平成元年に発足。社会人軟式野球の部門で、数々の全国大会に出場し、好成績を残している。活動の中心である大雄・大森の両野球場は、一般Bの部の開催地。代表候補も9人(1人はコーチ)を送り出し



一般Bの部
秋田県チームコーチ
佐々木和義さん

市内3つの野球場で開催される軟式野球競技(一般B)。軟式野球の強豪チームとして知られる大雄地域の(株)宮腰デジタルシステムズ野球部(以下、宮腰野球部)から、県代表候補が多数輩出されている。

軟式野球の秋田県代表チームの選手選考は、大会前の最終登録まで行われるため、各部門とも代表選手は確定していないが、宮腰からは一般Aの部に2人、一般Bの部に9人、成年の部に1人の計11人が国体に向けた代表候補練習に参加し、国体出場を目指している。

軟式野球の秋田県代表チームの選手選考は、大会前の最終登録まで行われるため、各部門とも代表選手は確定していないが、宮腰からは一般Aの部に2人、一般Bの部に9人、成年の部に1人の計11人が国体に向けた代表候補練習に参加し、国体出場を目指している。



軟式野球成年の部代表候補
高橋幸悦さん





インターハイの全国覇者 再び頂点を射抜く

アーチェリー
佐藤 綾さん
さとう あや(19歳・平鹿)



横手城南高校への入学当時、父・徹さんの勧めで始めたアーチェリー。城南高校にアーチェリー部はなかったため、同好会として活動をスタートさせた。3年の夏、東北総体での優勝を経て出場した千葉インターハイ(全国高校総体)。女子個人の部で県勢初の優勝という快挙

を達成。競技を始めて2年半での全国制覇は、周囲を驚かせた。社会人となった現在は、仕事をしながらアーチェリーを続けている。インターハイの優勝で大学や企業からも誘いの声があったが、地元でアーチェリーを続けることを選んだ。

「横手が好きですし、自分には生まれ育ったこの場所で生活する方が合っていると思ったので」と笑顔で語る。練習は、仕事が終わってから自宅近くにある公民館の体育館でほとんど毎日行っている。静まりかえった体育館でのたった一人の孤独な練習。そんな環境

でも寂しや苦しさは感じていない。「自由な気持ちでアーチェリーに接していくことは、私が選んだ道。だから寂しくはありません。今はアーチェリーができるだけでうれしいと思っています」と話す佐藤さんからは、自分が決めたことはやり通すという、芯の強さを感じ取ることができる。

昨年出場した、のじぎく兵庫国体では、個人14位。わか杉国

体では、昨年を上回る成績とともに、「再び全国の頂点に」との期待も高まる。「昨年の国体は、企業の選手や大学の選手と試合をすることができたので、とても貴重な経験となりました。自分なりに手応えは感じて帰ってきたつもりです。アーチェリーを楽しみながら、わか杉国体を目指していきたいと思っています」。自然体の佐藤さんに気負いはない。

指導者の目

見上選手の最大の特徴は、前さばきのすばらしさ。体重が軽い分、力勝負では不利ですが、それを補うほどの技術と強い下半身を持っています。試合での集中力もすばらしく、他の選手を圧倒するものがあります。国体までの間、今の技に、さらに磨きをかけることに重点をおいているところです。

高校相撲界の現状では、特に絶対的な強さを誇るチームが見あらず、上位入賞も十分にねられる位置にあります。見上選手のほか、他の部員も力を付けてきているので、わか杉国体では上位入賞できるよう、練習を重ねていきたいと思っています。



相撲秋田県代表チーム
コーチ[少年]

原徳兵衛さん

はら とくべい(31歳・平鹿)



兄の姿を見て、小学校1年生から相撲を始めた見上さん。細く、小さな身体は、決して恵まれた体格とは言えなかったが、平鹿中学校、平成高校と相撲を続け、今では県下一の実力を持つと言われるまでに成長した。見上さんの得意技は、左前まわしを取ってからの攻め。指導にあたる原コーチが「前さばきなら全国でもトップクラスの技術を持っている」と語るとおり、立ち合いで前まわしを取ると一気に勝負をつけるスピード相撲が持ち味。相手を得意な形に持

ち込ませず、技を出す前に決着つける見上さんの相撲は、流れるような動き。原コーチも「相撲の完成度は極めて高い」と評価する。

昨年出場した国体では、残念ながら予選敗退。「緊張して自分の相撲がとれなかった」と照れながら、高校生らしいさわやかな笑顔をのぞかせた。

「練習は厳しいですが、試合に勝つ喜びは何にも変えられません。悔しい思いをしないよう、練習に臨んでいます。一戦一戦自分の相撲をとれば、結果は自然についてくると思っています。わか杉国体では、県の優勝に少しでも貢献できるよう、精一杯がんばりたい」と力強く抱負を語ってくれた。厳しい練習に耐える精神力と天性の技術で上位入賞をねらっている。



相撲

見上 理さん

みかみ おさむ(平成高校2年・平鹿)



天性の技術でつかむ 勝利の前まわし



市総務企画部国体推進事務局長

佐藤昌男さん

(さとう まさお)

市国体推進事務局では、競技を無事成功させることはもちろん、この機会に横手を訪れる選手、関係者の皆さんに横手らしさを味わってもらいたいとの思いで準備作業を進めています。

横手市での開催が決定して以来、関係者の皆さんによる準備が着々と進められていますが、心のこもった温かいおもてなしの体制を作るためには、市民の皆さんの協力が欠かせません。市民運動のより一層の盛り上がりにも期待しています。選手や役員として参加するだけでなく、ぜひ競技会場に足を運び、選手に声援を送りながら感動を共有してほしいと願っています。また、数十年に一度の夢ある大会に、未来を担う子どもたちにも積極的に参加してもらいたいものです。さらに、市町村合併後間もない今回の国体は、新生横手市を全国にアピールする絶好の機会でもあります。市の特色を活かした受け入れ態勢を築き、新市の一体感の醸成が図れば、大会は大成功といえるのではないのでしょうか。

準備を進めるうえで、ここまでやれば良いという上限はありません。訪れる側、迎える側がともに満足できる大会となるよう、選手と一緒に私たちも力を出し切ることが求められます。本番まで秒読み体制に入りましたが、地域全体の関心を高め、成熟した盛り上がりで連帯感を作るための体制づくりを進めていきます。

地元出場選手に大きなご声援を！

今回紹介した選手以外にも、たくさんの種目に市内の選手が出場する予定です。今後、国体のコーナーで紹介していくと共に、国体に向けた動きを紙面で伝えていきたいと思ひます。地元出場選手に、市民の皆さんの温かいご声援をお願いします。

連帯感の高まりに期待
市民の力を結集し
心のこもった国体に



増田中学校
陸上競技部監督

小田嶋信也教諭

(おだしま しんや・42歳)

指導者の目

石田選手の素晴らしいところは、自分に合った目標設定ができる点にあります。自分の力や周りの状況が良く見えていないと出来ないことです。そういった点でも抜き出した能力があると思います。そして何よりも「走ることが好き」というのが、今までの成績を支えてきた一番の要因ではないでしょうか。練習の内容も、石田選手の体力や成長に合わせ、ケガをしないように気をつけてきましたが、高校での練習は、今よりも更に厳しいものになるはずですので、ケガをしないよう注意しながら、万全の体制で国体に臨んでほしいものです。

国体特集

秋田わか杉国体



秋田工業高等学校
陸上競技部監督

大友貴弘教諭

(おおとも たかひろ・50歳)

指導者の目

競歩は一見地味な競技ですが、競歩の練習をすることにより、骨盤が安定し、軸がぶれないしっかりとした走りを身につけることができます。そのため、故障をした選手には競歩の練習を取り入れることがあります。長岩選手にはその素質があったということでしょう。物静かな性格ですが、内に秘めたものは相当のものがあると思います。

2年生で臨んだ兵庫国体では、3位という好成績でしたが、3年生となる秋田国体では更に上が求められます。将来的にも非常に期待の持てる選手ですので、秋田国体でも良い結果が残せるよう、指導していきたいと思っています。



の挑戦は、もう始まっている。

100メートルの全国チャンピオンが 未知の200メートルに挑む

少年女子共通200メートル

石田あかねさん

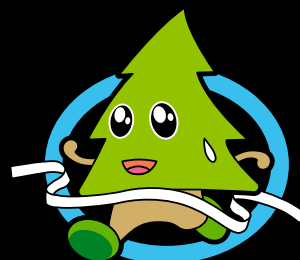
いしだ あかね(増田中学校3年・増田)



小学校5年の時、女子100メートルで全国一位に輝いた石田さん。走るたびに記録を伸ばし、数々の秋田県記録を更新。中学3年まで各種の全国大会で優勝すること4回。女子100メートルの世界で、「石田あかね」の名を知らない人はいないというほど、数々の実績を残してきた。

国体の陸上競技種目の中で、中学校3年生と高校1年生が出場する少年女子Bクラスには、100メートルの種目は用意されていない。そのため、秋田国体では、これまで取り組んできた100メートルではなく、200メートルに出場することになる。まったく走りの違う競技に出場することの困難は容易に想像できるが、ほとんど練習の時間を取れずに臨んだ昨秋の全国中学校ジュニアオリンピックの200メートルで、3位入賞を果たすなど、その素質の片りんをのぞかせた。

「高校生となる今年は、種目がすべて共通になるため、中学の時ほど入賞は難しいとは思ひ。今よりもっとタイムを伸ばせるよう努力していきたい」と語る石田さん。100メートルでつかんだ数々の栄光を胸に、新たな目標に掲げた200メートルへの挑戦は、もう始まっている。



陸上競技

全国の頂点をねらう 横手が生んだトップアスリート

●少年女子共通200メートル ●少年男子共通5000メートル競歩

長距離ランナーを目指し、増田中学校から秋田工業高校へ進学した長岩さん。1年の夏にケガをするも、そのリハビリとして始めた競歩で素質が開花。東北新人選優勝を経て出場した昨年ののじぎく兵庫国体で、見事3位入賞を果たした。3年生らも出場する共通競技での3位入賞の価値は高く、秋田国体での優勝を期待されている逸材だ。長岩さんを知る人は、「おっとりとした性格で、とても優しい子。こんなに素晴らしい成績を残すのは少し意外」と口をそろえる。親元を離れての合宿生活や厳しい練習を乗り越えながら成長を続ける長岩さんの様子がうかがえる。



競歩が引き出した潜在能力 強心臓で頂点を目指す

少年男子共通5000メートル競歩

長岩大樹さん

ながいわ ひろき(秋田工業高校2年・増田)



A portrait of a middle-aged man with dark hair and glasses, smiling broadly. He is wearing a dark suit jacket, a white shirt, and a red tie with a white floral pattern. A small blue and white badge is pinned to his lapel. The background is a plain, light-colored wall.

平成9年旧横手市長に初当選。
以来17年9月まで市長を務める。
平成17年10月、新横手市初代市
長に就任。

市長 昨年を一文字で表現すれば「走」という一年でした。市町村合併の成果を出すための基礎固めに奔走したトライ＆エラーの年、試行錯誤の一年であったように思います。あっという間に過ぎて、まだまだ走り続けている状態ですが、走って得たことを次に生かしながらこれからの施策につなげていきたいと考えています。

議長 横手平鹿一体という広域行政を改めて振り返ると、新市になって一段と広がりが出てきたのではないかと感じた一年でしたね。横手平鹿は、以前から仕事

新春 インタビュー

五十嵐忠悦×田中敏雄

平成19年がスタートしました。戦後最大と言われている農政改革については、どのように対応していきたいとお考えですか。

市長 コメだけでは成り立たなくなってきた農業経営をどう変えていくか、国の

経済的な自立を目指した「横手ブランド」の確立を

雇用対策については、市民の皆さんの期待も大きいと思いますが、どのような取り組みをお考えですか。

市長 雇用対策は、主要産業である農業と、それ以外の産業の二つの側面から考

今年の市政運営の方針をお聞かせください

市長 平成19年度は、今後10年間の市政運営の基礎となる横手市総合計画のスタートの年でもあります。これを基に市民の皆さんの期待するまちづくりを着実に進めていきたいと思っています。その中でも子育て支援や産業支援は、特に力を注いでいかなければならないものです。産業支援の中でも、特に注目しているのが「横手ブランド」の確立。横手は宝の

山とも言われていますが、これから横手が経済的にも自立していくためには、外との接点を多く持つことが必要です。買ってもらえる、食べてもらえる、来てもらえる横手になるために、横手をまるごとブランド化していくことを目指していきたいと思います。

議会運営の目標や課題などがありましたらお聞かせください

議長 市民に信頼される議会活動を第一の目標に掲げ、住民感覚に即し、信頼される活動を進める市議会として「和」を大切に力を尽くしていきたいと思えます。また今年は、昨年の12月定例会で設置された議会独自の調査機関である①観光・産業振興②横手駅周辺等開発調査③少子

高齢化対策の三つの特別委員会の活動が活発なものになると思います。これら重要な課題の現状把握に議会としても積極的に取り組み、今後の政策に生かされるよう努力していこうというものです。議員個々が自己研さんにつとめながら、市民要望に応えられる議会づくりを目指していきたいと思います。

A portrait of an elderly man with grey hair, smiling. He is wearing a dark pinstripe suit jacket, a light blue shirt, and a dark tie with a small white pattern. A red pocket square is visible in his jacket.

平成7年横手市議会議員に初当選。
連続3期市議会議員を務める。平成17年10月に行われた新市発足後初の市議会議員選挙で当選。同年11月、新横手市初代議長に就任。



知恵と責任で 着実な行政運営を

【市議会12月定例会市長所信説明】

横手市議会12月定例会が12月4日から22日までの日程で開催されました。その開会にあたり、五十嵐市長が行った所信説明の中から、新しい施策への取り組みを中心に、抜粋してお知らせします。

はじめに

内閣府の11月期月例経済報告によると「消費に弱さがみられるものの、景気は回復しており、雇用情勢は厳しさが残るものの、改善に広がりが見られる。また、先行きについては、企業部門の好調さが家計部門へ波及し、国内民間需要に支えられた景気回復が続くと見込まれる」とされています。しかし、都市部では景気が好調だというものの、地方では回復からほど遠いという

のが実感です。また、地方自治体を取り巻く環境は、三位一体改革や市町村合併等のさまざまな制度改革に加え、行政需要は増大し、財政運営は一段と厳しさを増しています。

このような状況の中、市では平成19年度に向けた行財政運営の基本姿勢として、総合計画を最大限に尊重しながら、限られた財源の中で見直すべきものは積極的に見直し、財政の効率化、健全化を図り、みずからの知恵と責任で多様化する行政課題に着実に取り組んで行かなければならないと考えています。



横手駅前に完成した秋田わか杉国体の歓迎塔

のと期待しています。

を実施することとなります。

■横手市水防計画策定について

10月31日、水防法に基づき、水害による被害を軽減し、市民の安全を確保する目的で横手市水防計画を定めました。

市の責務として、水防組織や水防施設などを整備することや、随時区域内の河川等を巡視し必要な措置をとること、予報警報体制、警戒避難体制の充実及び浸水想定区域を市民に周知するため、ハザードマップを作成して配布することとしています。

また、市民の役割として、みずから危険を察知し、自主的に避難することや市、水防機関が行う避難勧告・指示等に従うこととしており、この計画の策定により、円滑かつ迅速な水防活動

■農業振興について

品目横断的経営安定対策について、集落営農組織が現在37組織設立されていますが、年度末までには50組織ほどの設立が見込まれ、推進補助金の補正予算を今議会に提案しています。今後、担い手個別農家に対する加入に向けた取り組みを推進し、4月まで250経営体の加入を目指します。

■都市と農村の人的交流について

10月に、京都生協の会員や、首都圏のパルシステム生協連合会の会員の皆さんが当市を訪れ、稲刈りやリンゴ狩りなどの農業体験を通じ、当地域の農業への取り組み状況を視察していた

新たな施策等への取り組みについて

■秋田県後期高齢者医療広域連合の設置について

平成20年度から新たに、75歳以上の高齢者を対象とする独立した医療制度「後期高齢者医療制度」が実施されます。その運営主体となり、全県の市町村が加入する広域連合について、8月に秋田市長を会長とする秋田県後期高齢者医療広域連合設立準備委員会が設立されています。10月の第2回設立準備委員会では広域連合の規約案が決定され、それに伴い、全県一斉に12月定例議会に広域連合の設置案を提案することとなっています。

■障害者自立支援サービスについて

障害者自立支援法の本格施行に伴い、障害者地域生活支援事業が10月から始まり、相談支援事業、日中一時支援事業、訪問入浴事業等を多くの方にご利用いただいています。今後も障害のある方が自立して日常生活や社会生活を営むことができるよう、障害福祉サービスの総合的な提供に向け、環境の整備に努めていきます。

できました。

こうした取り組みは、産地としていかに資源循環・環境保全型農業を実践しているかの確認であり、食品の生産・加工・流通・消費・廃棄までの安全・安心のためのシステムを生産者と消費者が一体となって構築しようとする活動の一端でもあるので、今後もこうした交流事業を積極的に推進し、消費者に誇りと自信を持つてお届けできる産地づくりに取り組んでいきます。

■都市計画マスタープランの策定について

都市の将来像や街づくりの方針を示した向こう20年間の長期計画として、平成18年度から3か年で都市計画法に基づく都市計画マスタープランを策定します。今年度は都市機能や都市構造の方向性を検討し、一体的な都市計画として運用を行うための条件や課題を整理するとともに、都市計画区域再編の方向性について検討、整理することを目的にマスタープラン策定基礎調査業務委託を発注しています。

■高機能消防指令センター総合整備事業進捗状況について

消防本部指令システム工事については、6月議会において工

■ヤマト運輸株式会社秋田横手コールセンター進出について

11月、県の誘致企業として、ヤマト運輸株式会社秋田横手コールセンターの進出が発表されました。同社の横手営業所（卸町）を改装して開設するもので、主な業務内容は、東京都のお客様からの宅配便の集荷、再配達依頼の電話への対応となります。常用雇用者7人、パートおよび派遣社員120人でスタートし、来年度以降は150人まで拡充する計画であり、市では、雇用確保と定着について、ハローワークと連携しながら進めていきたいと考えています。

■新たな許認可事務について

県から市への権限移譲事務は、平成19年度に新たに16項目を受け入れることで現在協議が行われています。また、現在、県平鹿地域振興局が審査を行っている建築確認申請について、事務の簡素化を図るため、市独自に建築主事を配置し、一部建築物の確認業務を行う予定です。

■学校統合の経過について

市立小中学校の通学区再編に係る学校統合について、教育委員会による9つの案に該当する学校が所在する5地域の地域協議

平成18年度事業の進捗状況等について

会に9月に諮問しました。うち4地域協議会からはすでに答申が示されており、その内容はおおむね妥当との意見でした。順次説明会を開催していますが、今後も、保護者や地域住民の皆さんの合意を得ながら進めていきたいと考えています。

■横手市総合計画について

合併前の各議会で議決いただいた新市建設計画をベースに、策定委員会の各部会で検討を行った素案を、横手市総合計画審議会及び各地域協議会に諮問しました。その結果、総合計画審議会ならびに各地域協議会から、それぞれ了承の旨の答申がありましたので、横手市総合計画の基本構想に関する議案を今議会に上程しています。

■秋田わか杉国体について

秋田わか杉国体の準備状況について、市内の3ロータリークラブと7ライオンズクラブのご好意により、横手駅前に歓迎塔が完成しました。来年10月まで、国体のPRと全国から訪れる方々をお迎えするシンボルとして、大きな役割を果たしてくれるも

事請負契約締結の議決をいただき、10月から建物改修工事に着手しました。工事の状況としては、機器の搬入、据え付け段階に入っており、工事全体の進捗率は80%となっています。なお、高機能消防指令センターの稼動時期は、現在のところ2月中旬頃を予定しています。

■道の駅事業について

9月に着工した地域振興施設は、11月末現在の本体工事の進捗率は17%となっています。農産物直売所については、出品希望者直売グループ運営協議会

を設立し、オープンに向けて準備を行っています。また、環境にやさしい道の駅を目指して資源循環推進協議会を立ち上げ、県がごみの減量化に向けて実施するゼロエミッション地域確立支援事業に取り組み、使用済み食用油を回収のうえBDF（廃食用油）燃料として活用し、資源循環を図っていきたいと考えています。なお、運営については、指定管理者制度の導入により新たな民間会社へ委託することを目指しており、現在地元の方々を中心に会社設立に向けた準備を進めています。

12月議会に提案された主な一般会計補正予算

■一般会計補正額

・・・・・・・・・・6億9,272万4千円

◎主な補正予算

- ネットワーク構築事業・・・・・・・・445万2千円
- 身体障害児（者）補装具給付等事業・・1,126万2千円
- 身体障害者自立支援給付事業・・・・・・385万4千円
- 知的障害者自立支援給付事業・・・・・・1,128万2千円
- 精神障害者自立支援給付事業・・・・・・865万3千円
- 社会福祉施設整備事業補助金・・・・・・4,000万円
- 福祉医療給付費（単独分）・・・・・・2,013万8千円
- 障害者支援施設整備事業・・・・・・4,003万4千円
- 延長保育事業・・・・・・・・・・・・・・3,161万円
- 保育所運営費（すこやか支援事業含む）4,216万6千円
- 経営所得安定対策事業・・・・・・・・・・300万円
- 道路災害復旧事業（凍上災）・・・・3億8,006万1千円

■補正後の予算総額

・・・・・・・・・・494億6,954万9千円

県内で4番目に高い数値

「実質公債費比率」が19.1%に

今年度から新しく導入された「実質公債費比率」が、横手市では19.1%となり、健全財政の目安とされている18%を上回りました。これは、県内25市町村の中で4番目に高いものとなっています。この「実質公債費比率」が高いために「財政再建団体」になるということはありませんが、市ではこれをひとつの警告ととらえ、一層の行財政改革を推進していくことにしています。

■実質公債費比率とは

「実質公債費比率」は、市が建設事業をはじめ、各種事業を進める上で借りた借入金の返済の経費が市税や地方交付税などを合わせた標準的な一般財源の総額に対してどれだけの割合になっているかを示す指標。従来の指標をより厳格化、透明化して、項目の如何を問わず最終的に借入金の返済になるものをすべて拾い出し、全体の状況がわかるように見直したものです。

横手市の比率が19.1%と高いのは、今日まで市民生活に必要とされる社会資本整備を進めてきたことを示すものでもあります。この比率が18%以上になると、建設事業などの財源としてお金を借りるためには、昨年度までと同様に県の「許可」が必要となり、そのためには、借入金返済の負担を軽減していく計画を作成しなければなりません。また、25%以上になると、単独事業など一部の事業で財源としてお金を借りることができなくなります。

市では、この比率が18%未満になるように「公債費負担適正化計画」を策定しているところです。

■今後の見通し

借入金の返済(予定)額は、平成17年度がピークになっていますが、ここ数年は返済額があまり減らないため、この比率は今後数年間、現在のような高い水準が続くと見込まれます。

そのため、有利な借入金はどんどん借りた方がいいということではなく、借入金の残高を増やさないようにしたり、企業会計や特別会計の経営改善を進めながら返済の負担を減らし、財政の健全化を図っていく考えです。

【性質別歳出の内容】

人件費…職員の人件費など

扶助費…老人ホームや保育所に入所する方の費用など

物件費…デイサービス等福祉事業委託料や消耗品、光熱水費など

維持補修費…道路、市役所、公民館、学校などの維持補修費

補助費等…負担金や補助金など

建設事業費…道路設備、都市計画など

公債費…地方債の元金や利子の返済

繰出金…特別会計への繰出金

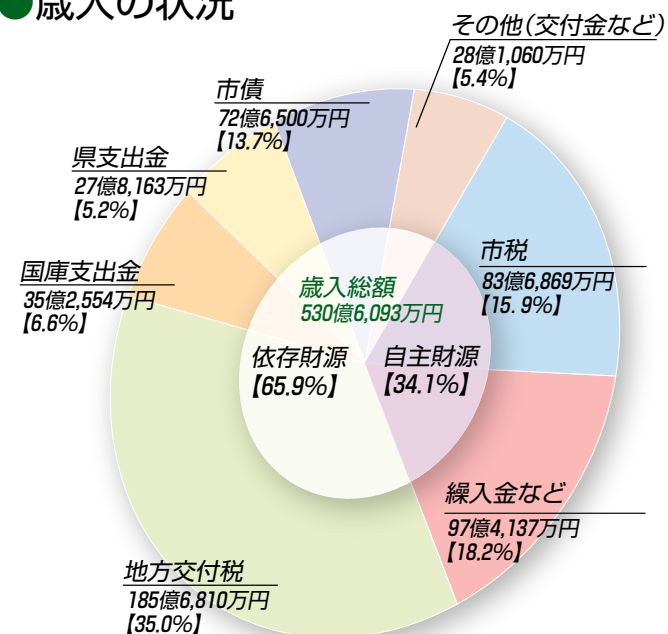
地方財政状況調査(決算統計)における平成17年度の決算

横手市は平成17年10月に合併したことから、平成17年度の決算統計は4月～9月の旧8市町村及び広域市町村圏組合の決算額と、10月～3月の新横手市の決算額を合算したものとなっています。

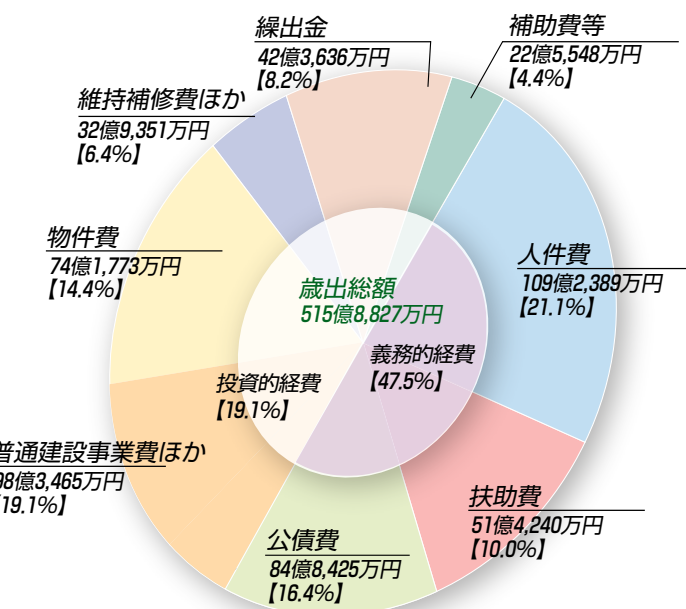
平成17年度の決算統計における普通会計の歳入歳出の内容は次のとおりです。

※普通会計とは、個々の地方公共団体ごとに各会計の範囲が異なることから、自治体間の財政比較ができるようにするため、地方財政統計上で共通して用いられる会計区分。平成17年度は、一般会計・土地区画整理事業特別会計・前郷墓園造成事業特別会計・大和更生園特別会計・通所授産施設特別会計・坂部診療所特別会計の6つの会計を合わせたものを普通会計としています。

●歳入の状況



●性質別歳出の状況



平成17年度決算報告

新市誕生後の決算を認定

市民生活の向上に

556億円

合併後半年分(平成17年10月1日から平成18年3月31日)の一般会計及び特別会計の決算(37件)が12月議会で認定されました。

合併後の予算は、市民生活の向上や新市一体感の醸成など、安心して暮らせるまちづくりのために、有効に活用されました。

【表】平成17年度一般会計及び特別会計決算(平成17年10月1日から平成18年3月31日)

会 計 名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
①一般会計	322億5,785万円	308億6,725万円	13億9,060万円
特別会計			
②大和更生園特別会計	1億3,013万円	9,844万円	3,169万円
③通所授産施設特別会計	4,963万円	3,955万円	1,008万円
④前郷墓園造成事業特別会計	2,798万円	178万円	2,620万円
⑤坂部診療所特別会計	107万円	95万円	12万円
⑥土地区画整理事業特別会計	4億1,363万円	3億9,966万円	1,397万円
⑦国民健康保険特別会計	64億2,119万円	56億8,804万円	7億3,315万円
⑧老人保健特別会計	69億6,850万円	67億6,460万円	2億0,390万円
⑨介護保険特別会計	36億3,966万円	36億3,929万円	37万円
特別養護老人ホーム特別会計			
⑩いきいきの郷特別会計	2億1,593万円	2億1,118万円	475万円
⑪雄水苑特別会計	1億5,304万円	1億1,313万円	3,991万円
⑫白寿園特別会計	3億8,778万円	2億3,625万円	1億5,153万円
⑬憩寿園特別会計	1億6,889万円	1億5,761万円	1,128万円
⑭鶴寿苑特別会計	1億7,554万円	1億6,995万円	559万円
⑮介護老人保健施設特別会計	3億6,126万円	2億3,624万円	1億2,502万円
⑯居宅介護支援事業特別会計	1,868万円	558万円	1,310万円
⑰指定通所介護事業特別会計	3,446万円	3,117万円	329万円
⑱国民保養センター三吉山荘特別会計	2,357万円	1,923万円	434万円
⑲地域間交流施設雄川荘特別会計	1億3,580万円	1億1,130万円	2,450万円
⑳林業者等休養福祉施設さくら荘特別会計	1億3,422万円	1億0,838万円	2,584万円
簡易水道事業特別会計			
㉑平鹿地域簡易水道事業特別会計	5,790万円	5,383万円	407万円
㉒雄物川地域簡易水道事業特別会計	9,724万円	9,038万円	686万円
㉓大森地域簡易水道事業特別会計	2,052万円	1,564万円	488万円
㉔十文字地域簡易水道事業特別会計	2,080万円	1,569万円	511万円
㉕山内地域簡易水道事業特別会計	2億3,245万円	2億2,575万円	670万円
㉖下水道事業特別会計	29億0,309万円	28億4,801万円	5,508万円
㉗集落排水事業特別会計	4億6,387万円	4億5,000万円	1,387万円
㉘浄化槽市町村整備推進事業特別会計	7,892万円	6,357万円	1,535万円
財産区及び財産管理特別会計			
㉙横手町四町財産区特別会計	266万円	67万円	199万円
㉚境町財産区特別会計	59万円	20万円	39万円
㉛横手地域財産管理特別会計	2万円	0万円	2万円
㉜前郷地区特別会計	180万円	86万円	94万円
㉝西成瀬財産区特別会計	314万円	270万円	44万円
㉞醍醐財産区特別会計	484万円	5万円	479万円
㉟里見財産区特別会計	904万円	19万円	885万円
㊱福地財産区特別会計	21万円	7万円	14万円
㊲館合財産区特別会計	389万円	18万円	371万円
特別会計(②～㊲)計	233億6,194万円	218億0,012万円	15億6,182万円
合 計(①～㊲)	556億1,979万円	526億6,737万円	29億5,242万円



新春太鼓打ち初めを披露した櫻林御鷹太鼓の皆さん

市民の皆さんが一堂に会して新年の喜びとともに情報交換を行う、平成19年横手市新春賀詞交歓会が1月4日、平鹿生涯学習センター多目的ホールを会場に開催され、市民の皆さんや市内の事業所に勤務する皆さんなど約250人が参加しました。開会前には、増田地域の櫻林御鷹太鼓による新春太鼓打ち初めが行われ、迫力ある演奏で来場者を出迎えました。会では、はじめに五十嵐市長が「昨年と打って変わり、雪の少ないすこしやすい年末年始でした。しかし、暖冬傾向とは言



好評だった、特産・物産展示即売

環境

豊かな環境を未来の子どもたちに「エコライフ協力事業所等」認定制度

平成18年12月12日付けで「横手市エコライフ協力事業所等認定制度に関する要綱」が制定されました。

これは、市内で事業活動を営み、または町内会単位でごみの減量化やリサイクル、地球温暖化防止、省エネルギー活動など、環境保全に向けての取り組みを率先して実践されている事業所、店舗や町内会を申請に基づいて市が認定し、活動や実践の内容を紹介したり環境に関する情報の提供を行って、市民や事業者のみなさんの積極的な環境配慮行動を促進する制度です。

認定を得るための基準や主な内容など

- 要綱に示された「推奨・協力・実践の実施対象項目」の中から事業所や町内会それぞれの分野ごとに「3つ以上」該当する項目があれば認定の対象となります
- 年に1～2回程度、所定の様式で活動報告を求め、他の模範や参考となる事例等がある場合は積極的に紹介します

申請手続きについて

- 各地域局市民生活課の環境担当窓口または福祉環境部環境課に備え付けの申請書用紙に所定の事項を記入し、申請書用紙の裏面に記載された「実施対象項目」チェック欄にチェック（3つ以上が認定条件）を入れ、最寄りの地域局市民生活課環境担当窓口へ環境課にお届け下さい
- 申請が受理されると、認定書並びに認定ステッカー（カラーA4版）が交付されます
- 一度認定されれば、特別の申し出がない限り認定は自動的に更新されます

問合せ 市福祉環境部環境課環境企画担当(大雄庁舎内)
☎35-2184または各地域局市民生活課環境担当

街からあなたへ
行政情報便
07.1.15

新年を祝い250人が懇談

新春賀詞交換会



あいさつする五十嵐市長

市県民税の申告相談が2月1日(木)から始まります

市民税

平成19年度の市県民税（住民税）の申告時期が近づきました。市報とともにお届けした「平成19年度市県民税の申告について」や「申告相談日程表」などをご覧ください。15日(木)までに申告してください。

申告にあたっては、必要書類（平成18年分源泉徴収票、18年中の領収書又は預金通帳など支払い金額や払出し金額がわかるもの）を必ずご持参ください。

申告相談会場については、各地域局1か所で行いますので、ご自分の地区・町内の指定日を確認のうえ、できるだけ指定日に申告して下さいをお願いします。会場は、混雑が予想されますので、事業所得、医療費控除などの申告をされる方は、ご自分で領収書の集計をしていただきますと、申告時間の短縮になりますのでご協力お願いします。

なお、申告書は、自分で書いて郵送することも出来ます。送付先は、市県民税申告書が市民税課（横手庁舎内）、確定申告書は横手税務署となります。

地 域	申告相談会場
横 手	横手庁舎2階会議室
増 田	増田地区多目的研修センター2階農業指導研修室
平 鹿	平鹿生涯学習センター
雄物川	雄物川庁舎2階大会議室
大 森	大森庁舎3階集会室
十文字	十文字庁舎2階委員会室
山 内	山内公民館講堂
大 雄	農業団地センター2階流通対策室

問合せ 市財務部市民税課市民税担当(横手庁舎内)
☎32-2510または各地域局市民生活課税務担当

戸波地区6世帯に避難勧告 12月27日の大雨被害



皆瀬川が増水し、住宅に川の水が迫る(増田地域戸波地区)

12月27日、発達中の低気圧の影響で、県内は強風を伴った大雨に見舞われ、9時28分、秋田地方気象台から仙北平鹿、湯沢雄勝地域に大雨・洪水警報が発令されました。26日の夕から降り続いた雨と、低気圧から吹き込んだ南風によって山間部の雪が解けた影響で河川の水位が上昇。27日の8時30分、県から横手川、皆瀬川、成瀬川に水防警報が発令。消防団が警戒体制に入りました。10時20分、雄物川地域にある雄物川橋観測所で、警戒水位の3㍎に達し、増田地域の戸波地区では、皆瀬川の水位が急激に上昇し、決壊の危険があるとして、11時40分、石川助役を本部長とする横手市災害警戒部を設置。河川の巡回巡視、情報収集等を行い危険箇所の巡回等のた



冠水した河川公園(雄物川地域深井地区)

め消防団員を配置し、災害防止に対応しました。

その後、戸波地区では水位が堤防まで約30㍎に達したため、6世帯に避難勧告し、戸波会館へ避難。土のうを80㍎にわたり積み上げ、木流し工法を実施して堤防の決壊等に備えました。

15時、徐々に河川の水位が下がり始めたことから、災害警戒部を災害警戒対策部に切り替え、戸波地区に出していた避難勧告を解除。16時、雄物川等の河川水位の状況から判断し、横手市災害警戒対策部を解散しました。

この大雨の影響により、横手川の川岸に設置している流雪溝の吐き出し口から川に流す「放流シュート」が7か所で半壊。雄物川地域の河川公園を含む多くの河川敷が冠水するなどの被害がでした。

今年一年の無火災を誓う

消防出初め式



気持ちも新たに無火災を誓いました

横手市消防出初め式が、1月4日から6日にかけて各地域で行われました。1月5日、雄物川体育館を会場に行われた、雄物川消防出初式には、消防団員や関係者など約400人が参加。式に先立ち、雄物川体育館に整列した消防団員は、五十嵐市長や佐々木信義団長などの観閲を受けました。式典では、五十嵐市長が「防災の最前線では昼夜を問わず、あらゆる災害から市民の生命・身体・財産を守るため、献身的にご努力されていることに深く感謝します。市の火災発生状況は、昨年11



市長や団長の観閲を受ける消防団員

月までに35件発生し、うち20件が建物火災。昨年同期と比較して13件減少していますが、一昨年との比較では、ほぼ同じ件数であり、決して少ないといえる状況ではありません。無火災を目指し、今後とも火災予防にご尽力をお願いします」と式辞を述べました。

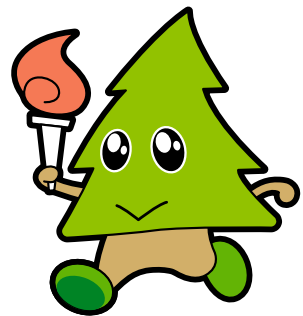
続いて、長年にわたり尽力されてきた団員や団体などに表彰状が送られ、最後に佐々木団長が「消防精神を堅持し、使命達成のため日夜努力することを誓い、団員各位の益々のご精進をお願いします」と訓辞しました。

がんばれ スギッチ



～国体だより～
No.10

第62回国民体育大会 横手市『大会旗・ 炬火^{きょか}リレー』走者 を募集します



大会旗・炬火(きょか)リレーとは、オリンピックで行われる聖火リレーにあたり、国体の開催気運を盛り上げるために『秋田わか杉国体』、『秋田わか杉大会』に先立ち行われるものです。

秋田わか杉国体・わか杉大会では、県内9か所で採火された炬火を各市町村でリレー経由した後、開会式会場の県立中央公園県営陸上競技場に集火されます。

■実施日時

平成19年8月5日(日)
9:00～ 採火式(保呂羽山波宇志別神社神楽殿)
14:00～ 歓迎式(市役所南庁舎)

■募集期間

平成19年1月15日(月)～2月5日(月) 締切日必着

■応募資格

①横手市内在住・在勤の方
②平成4年4月1日以前に生まれた方
※ただし、18歳未満の方は保護者の同意が必要となります。
(小・中学生については、学校推薦となります)
③他のリレー走者と協調して、安全に時速8km(1km＝7.5分)で1区間(最長1.5km)を走行できる方
※障害のある方は、伴走などの介助者の併走及び車椅子の使用も可能ですが、原則として自分の力で走行できる方
④横手市実行委員会が開催する練習会、歓迎式等に参加できる方(交通費は自己負担)
⑤秋田わか杉国体・わか杉大会開催の喜びを分かち合い、大会旗・炬火リレー走者として参加する意欲が旺盛な方
⑥日頃から健康管理に十分注意を払っている方



のじぎく兵庫国体での大会旗・炬火リレー風景(兵庫県 播磨町)

■応募人数

50人
●炬火保持者
●国民体育大会旗保持者
●全国障害者スポーツ大会旗保持者
●小旗保持者

■選考・発表

①応募者多数の場合、抽選により決定します。
②平成19年2月下旬(予定)に書面で通知します。

■炬火リレー走者コース

No.	区 間	地 域	距 離
①	大森小学校→大森地域局	大 森	1.0 km
②	J A野菜集出荷所→大雄地域局	大 雄	1.1 km
③	山内小学校→山内地域局	山 内	1.0 km
④	平鹿地域振興局→横手地域局	横 手	1.2 km
⑤	雄物川北小学校→雄物川地域局	雄物川	1.1 km
⑥	浅舞小学校→平鹿地域局	平 鹿	1.0 km
⑦	十文字梨木公園→十文字地域局	十文字	1.1 km
⑧	増田体育館→増田地域局	増 田	1.5 km
⑨	秋田ふるさと村→横手南中学校入口	横 手	1.3 km
⑩	横手南中学校入口→市役所南庁舎	横 手	1.3 km

■応募方法

応募用紙は、各地域局に用意しておりますので、必要事項を記入の上、横手市実行委員会(国体推進事務局内)または最寄りの各地域局市民生活課窓口までお申し込みください(FAX・Eメールでの申し込みはできません)。

また、応募用紙は、市ホームページ(<http://www.city.yokote.lg.jp/>) 国体推進事務局のサイトからダウンロードできます。※詳しい内容は、ホームページでも紹介しています。

■国体に関する問合せは
総務企画部国体推進事務局
(横手就業改善センター2F)
☎35-2171

式には浅舞小学校児童や子ども見守り隊が参加

子どもたちが被害にあう、さまざまな事件が各地で発生し、安全で安心なまちづくりが求められている中、横手市では市内全域(全小学校区)に青色回転灯を装着した車両が配備されることとなり、その出発式が20日、浅舞小学校校庭で行われました。

横手市内ではこれまで、住民ボランティア等による子ども見守り隊が各地区で組織され、児童の安全確保に向けた取り組みがなされてきましたが、防犯効果をより高めたいとの考えから、青色回転灯パトロール実施の手続きや講習の受講など、準備を進めてきました。

出発式では、はじめに五十嵐市長が「地域の安全は地域みんなで守りましょう。温かい見守りの中で安心して通学し、たくさん学んでください」とあいさつを述べ、児童を代表して佐藤光汰朗さん(浅舞小2年)が「いつも見守ってくれてありがとうございます。これからも気を付けて通学します」とお礼の言葉を述べました。続いて、児童の下校に合わせて車両が出発し、市内全域でのパトロールを開始しました。

これまでは、各地域ごとに行われていた防犯活動ですが、今後、市内全域で青色回転灯パトロール車による巡回を行うことで、犯罪者への心理的な抑圧など、防犯効果がより一層高まるものと期待されています。

パトロール車に見守られ下校する児童

全小学校区に76台を配置 青色回転灯パトロール車出発式

下水道 下水道の名称と排水区域を変更する都市計画案を縦覧します

横手都市計画、十文字都市計画の下水道の名称と排水区域を変更する都市計画の案を次のとおり縦覧しますので、ご覧ください。

都市計画を変更する土地の区域

横手都市計画分 陸成字城付、上境字谷地中、横手町字三ノ口、婦気大堤字田久保下、赤坂字大沼沢、郷土館、館ノ下、富ヶ沢、仁坂、上後野

十文字都市計画分 佐賀会字上沖田、下沖田、新山前、石川原、古川添、新山道添、仁井田字下川原、杉ノ下、腕越字石倉地内

都市計画の案の縦覧場所

上下水道部下水道整備課(山内庁舎2階)

上下水道部下水道維持課(横手庁舎4階)

十文字地域局地域維持課

※ただし、土・日曜日は各日直担当窓口で行います。

都市計画の案の縦覧期間

19年1月25日(木)～2月8日(木)

問合せ

市上下水道部下水道整備課 ☎53-2931

次回の市長面会日のお知らせ

1月30日(火) 午前9時～10時30分

■申込期限 1月26日(金)

■申込み・問合せ 市総務企画部秘書広報課秘書担当 ☎35-2111 内線1033

農業委員会 農業委員会委員選挙人名簿登載申請書の提出はお済みですか

農業委員会委員の選挙に関する権利を有するためには、各農家世帯が在住する地域局農業委員会事務局担当(産業振興課内)に選挙人名簿登載申請書の提出が必要です。まだ提出されていない農家世帯は大至急ご提出下さい。なお、選挙権を有すると思われる世帯で申請書用紙が配布されていない場合は、大至急お問い合わせ下さるようお願いいたします。

【各地域局農業委員会事務局担当連絡先】

横手	☎32-2718	増田	☎45-5515
平鹿	☎35-2172	雄物川	☎22-2187
大森	☎26-2117	十文字	☎42-5116
山内	☎53-2934	大雄	☎52-3913

子育て 「子育て支援と教育充実を推進する将来ビジョン」に関する意見交換会を開催

子育て支援と教育充実を推進するため、秋田県が今後10年間で取り組む施策のサービス水準や、財源のあり方について広くご意見をいただく意見交換会が開催されます。

どなたでも傍聴できますので、希望される方は市福祉環境部子育て支援課までご連絡ください。

開催日時 平成19年1月31日(水) 14:00～16:00

会場 市役所南庁舎 講堂

出席者 県：副知事、出納長、知事公室担当職員等
市：市長、教育長、福祉保健部・教育委員会担当職員、地域住民等

問合せ 市福祉環境部子育て支援課 ☎26-2113

19 | Yokote City Public Relations 2007.1.15

Yokote City Public Relations 2007.1.15 | 18

情報

●お知らせのページ●

お知らせ



下水道への接続のお願い

市では、下水道が使用できるようになった世帯に速やかな接続をお願いしています。台所や風呂などの生活雑排水は1年以内。トイレは3年以内です。

下水道への接続工事は、横手市の排水設備指定工事店で行うことになります。市では下水道使用区域になってから3年以内の水洗化工事について、無利子で融資を受けられる融資あっせん制度（限度額120万円）がありますので、ぜひご利用ください。

催し



後三年の合戦(役)講演会

平泉町世界遺産推進室の八重樫忠郎さんを講師に迎え、「日本史における平泉と横手」をテーマにした講演を行います。

■日時 1月26日(金)午後6時30分～8時

■入場料 無料

■場所 かまくら館2階ホール

募集

市営住宅の入居者を募集します

①公営住宅

地域名	名称	築年度	間取り	家賃(円)	募集戸数
横手	赤谷地住宅	S51	2DK	12,100～	1
	吉沢住宅	S53	3DK	13,800～	1
	南朝日が丘住宅	S58	2LDK	18,000～	1
平鹿	第二道川団地	S54	3DK	11,500～	1
	五十田団地	H11	2LDK	20,900～	1
	醍醐団地	H18	3DK	29,300～	16
雄物川	下鶴田団地	H17	1LDK	14,800～	1
大森	菅生田住宅	S63	3DK	19,100～	1
	西野団地住宅1号棟	H7	3LDK	26,100～	1
十文字	上掃住宅	S46～	2DK	7,400～	5
	上掬住宅	S54	3DK	11,700～	1
	上掬住宅	S56	3DK	15,000～	1
山内	ニュータウンいわせ	H9	3LDK	17,600～	1

②特定公共賃貸住宅

地域名	名称	築年度	間取り	家賃(円)	募集戸数
大森	特定西野住宅	H10	1LDK	30,000～	2
	特定西野住宅	H10	2LDK	50,000～	1
増田	田町団地	H16	2LDK	54,000～	1

※ 醍醐団地(16戸)が新たに完成しました。立地や間取りなど、「ファミリー世帯」や「子育て世帯」に適した住宅です。

入居条件 公営住宅法に定める入居資格をお持ちの方が対象になりますので事前に市建築住宅課へご確認ください(家賃は所得額によって異なります)

申込方法 市建築住宅課窓口または各地域局地域維持課にある申込書に必要事項を記載し、必要となる書類を添付し申し込んでください(郵送不可)

申込期間 平成19年1月15日(月)～26日(金)
抽選会 2月6日(火)を予定(申込者に連絡します)
入居予定 2月下旬
申込み 市建築住宅課(十文字庁舎内)☎42-5121、または各地域局地域維持課まで(8:30～17:15、土・日・祝日は除く)

知事と語ろう『教育・子育て』県民フォーラム

教育と子育ての現状と課題について、秋田県知事が市民の皆さんと話し合います。参加を希望される方は下記へお申し込みください。

■日時 1月27日(土)午後2時～4時
 ■場所 増田生涯学習センター
 ■申込期限 1月22日(月) ※託児あり
 ■申込・問合せ先 市総務企画部企画課(本庁南庁舎内) ☎35-2164

さい。

■問合せ 市上下水道部下水道管理課(山内庁舎内) ☎35-2174、または下水道維持課(横手庁舎内) ☎32-2781

確定申告がはじまります

平成18年分の所得税の確定申告が始まります。申告書の受け付けは、2月16日(金)から3月15日(木)まで税務署窓口にて行います。なお、還付申告はこの期間前から提出することができますが、税務署の閉庁日(土日、祝日等)には申告書の作成指導や受け付けは行っていません。郵送などでの提出をおすすめします。

申告期限間近になると税務署内は混雑しますので、ご相談のある方は早めにお越しください。
 ■問合せ 横手税務署 ☎32-6090

内職登録者をご紹介します

現在、市にはたくさんの方の内職希望者が登録されています。企業で内職者をお探しの際は、登録者の中から条件にあった方を紹介いたしますので、ぜひご連絡ください。

平成18年度 秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会

■問合せ 市教育委員会文化財保護課(旧蛭野小学校内) ☎24-3480

今年度、県内で発掘調査された主な遺跡をスライドで解説し、土器などの貴重な出土品も展示します。また、「ふるさと横手・再発掘」では写真での遺跡紹介や縄文時代の道具体験コーナーもあります。どちらも無料で利用できます。

○「発掘調査報告会」

■日時 1月27日(土) 正午～午後5時、28日(日) 午前9時～午後3時

■場所 かまくら館二階・五階

○「ふるさと横手・再発掘」

■日時 1月27日(土)・28日(日) 午前9時～午後9時

■場所 イオンスーパーセンター 横手南店二階特設催事場

■問合せ 秋田県埋蔵文化財センター ☎0187-69-331

心の健康研修会

心の病気について学び、精神障害者の方が地域でいきいきと暮らすためにできることを考えてみませんか。湊クリニック院長の湊浩一郎先生を迎え、講演やシンポジウムなどを行います。

■日時 1月25日(木) 午後2時10分

※入場料、無料

■場所 横手セントラルホテル

■問合せ 県平鹿地域振興局児童・障害者班 ☎32-3294

ノロウイルスによる感染性胃腸炎にご注意を

ノロウイルスの症状は？

おう吐、下痢(水溶性下痢)、発熱などが主にみられ、風邪の症状に似ています。この症状は2～3日程度で回復しますが、症状が回復してから2～3週間に渡りふん便中にウイルスを排出し続けることがあります。

ノロウイルスによる感染はどうして起こるの？

- ①ウイルスに汚染された二枚貝を生で食べた人が感染します。
- ②調理人の手を解して食品が汚染され、それを食べた人が感染します。
- ③食品媒介ではないが、施設内で人から人の密接な接触で伝ばします。
- ④吐物・ふん便に排出されたウイルスから感染が広がります。

ノロウイルスによる感染症胃腸炎を予防するには？

- ①手指の洗浄消毒を確実にしましょう。(特に調理前、食事の前、トイレの後)
- ②まな板、包丁、ふきんなどをよく洗い、熱湯や塩素系漂白剤で消毒しましょう。
- ③食品を加熱する場合は、十分に加熱しましょう。(中心部を85℃で1分以上加熱)
- ④吐物・ふん便の処理は、マスクや手袋をして速やかにビニール袋に入れ、密封して捨てるようにしましょう。また、汚染された床はふきとりをした後、塩素系漂白剤で消毒しましょう。

■市福祉環境部保健衛生課(大森庁舎内) ☎35-2185





市民主催の催し等をお知らせするコーナーです

つかえる英語講座

アメリカ人の先生による講座です。あいさつからビジネスに使える英語まで学びます。
日 時 ● 1月23日(火)午後7時～9時
場 所 ● かまくら館 参加費1,000円(初回は無料)
問合せ ● 若林さん ☎32-0077

南部シルバーエリア 料理教室

家庭でできるクリームシチューのフォンジュを作ませんか。
日 時 ● 1月26日(金)午前10時から(定員:20人)
講 師 ● 小松一萬さん(レストラン煉瓦屋)
参加費 ● 1,000円(申込期限:1月22日)
問合せ ● 南部シルバーエリア ☎26-3880

とっぴんぱらりのプー 第71回昔語りの会

今年最初の昔語りの会です。いろいろを囲んでふるさとの「昔っこ」を楽しみませんか。
日 時 ● 1月27日(土)午後1時30分から
場 所 ● こうじ庵(鍛冶町)
問合せ ● 尾形さん ☎32-0630

横手市民総体バスケットボール競技

日 時 ● 1月28日(日)午前9時(参加費:1チーム5,000円)
場 所 ● 横手体育館(申込期限:1月22日必着)
対 象 ● 横手地域在住または在勤の方
問合せ ● 横手バスケットボール協会事務局(アルファスポーツ内) ☎33-3772、横手体育館 ☎33-2102

バスケットボール ウインターリーグ2007

日 時 ● 2月25日(日)、3月11日(日)、18日(日)いずれも午後1時から
場 所 ● 横手体育館(申込期限:2月9日)
対 象 ● 一般男女(高校生のみのチームは参加できません)
参加費 ● 1チーム6,000円(先着12チーム)
申込先 ● NPO法人よこてスポーツクラブ事務局(横手体育館内) ☎33-2102

募集 ご活用ください 高橋誠悦育英会奨学金制度

- 応募資格 横手市出身で、大学または高等学校に新たに入学する方、もしくは在学している方。学業、人物ともに優秀で、かつ目的意識を持って勉学に励もうとしている方。学資の支弁が困難と認められ、他の奨学金の貸与を受けていない方。
高等学校は月2万円以内、高等専門学校・大学・短期大学・大学院は月額5万円以内で別途入学金貸与あり(新入生のみ)
- 貸与金額 ①貸与額の8割返還
②貸与終了の1年後より返還開始
それぞれ若干名
出身学校を経由して事務局へお申し込みください。
3月26日(月)※必着
高橋誠悦育英会事務局(横手市教育センター) ☎24-3950
- 特 典
- 募集人数
- 申 込 み
- 募集期限
- 問 合 せ



2/10 11・12 第16回【あきた十文字映画祭実行委員会主催】「あきた十文字映画祭」

昨年夏から始まった「十文字映画塾」の作品『浴衣と三味線と花火』を含む、国内外の12作品を上映します。秋田を舞台に自分たちの手で1本の映画をつくろうと集結した塾生たちによる手作りの作品をお楽しみください。このほか、シンポジウムやシネマパーティなども行います。

- 期 日 2月10日(土)・11日(日)建国記念の日・12日(月)振替休日
- 場 所 十文字文化センター
- 入場券
 - ・作品券 1,500円「浴衣と三味線と花火」(シンポジウム含む)のみ500円
 - ・1日券 4,000円(11日はR18指定作品が上映されるため18歳未満の方は購入できません)
 - ・パーティ券(11日) 2,500円
1日券とパーティ券の前売りは500円引きとなります



- 10日 「太陽」(ロシア等合作)、「北京ヴァイオリン」(中国)、「奇跡の夏」(韓国)、「ユア・マイ・サンシャイン」(韓国)
- 11日 「キャッチボール屋」大崎章監督、「チーズとうじ虫」加藤治代監督、「浴衣と三味線と花火」十文字映画塾製作、シンポジウム「街づくりと映画の恋愛関係」、「愛妻日記 饗宴/ホワイトルーム」緒方明監督/斎藤久志監督【18歳未満入場不可】、脚本家シンポジウム「脚本ってなんだ?」(入場料:無料)
- 12日 「ありがとう」伊勢真一監督、「暗いところで待ち合わせ」天願大介監督 田中麗奈主演、「恋するトマト」南部英夫監督 大地康夫主演、「赤い鯨と白い蛇」せんぼんよしこ監督
※詳しくはチラシをご覧ください

■問合せ あきた十文字映画祭実行委員会 ☎018-863-7944

横手市雇用創出協議会セミナー

実践的な創業のポイントや接客術についての講演を行います。
「あなたのタイプ別・失敗しない創業のポイント」

- 日時 1月30日(火)午後2時
- 場所 横手プラザホテル
- 講師 坂本篤彦さん(ビジネス・コア・コンサルティング代表)
- 「感動だけがお客様を魅きつける」
- 日時 2月6日(火)午後6時30分

- 場所 横手プラザホテル
- 講師 津田妙子さん(株式会社スリーマインド教育センター代表取締役社長)
- 問合せ 市雇用創出協議会事務局(市産業経済部商工労働課内) ☎45-3990

在日外国人支援事業「わがかり合う」から始めよう!

海外出身の方や海外生活経験者を迎え、異文化や男女の関係などについて意見を交わします。
■日時 2月3日(土)午後1時～3時30分

- 場所 秋田県南部男女共同参画センター
- 参加費 無料(託児あり、1月27日まで要申込み)
- 問合せ 秋田県南部男女共同参画センター

募集



画センター ☎33-7018

県営住宅入居者を募集

- 募集住宅 県営吉沢住宅(横手市陸成字吉沢上台63)
- 募集戸数 2戸
- 募集期限 2月13日(火)
- 問合せ 県平鹿地域振興局建設部建築課 ☎32-6206

ホストファミリーを募集します

明海大学(千葉県浦安市)にとうアジアからの留学生が横手市を訪れます。ホストファミリーを体験し、気軽に国際交流をしてみませんか。日本語を話せませんので言葉の心配はいりません。
■受入期間 2月15日(木)～17日(土)の2泊3日

- 募集数 10家族
- 申込期限 1月31日(水)
- 申込先 市総務企画部男女共同参画推進室(本庁南庁舎内) ☎35-2158

スクールのバス運転手を募集

児童生徒の通学や学校行事などで使用するスクールのバスの運

転手を募集します。

- 期間 平成19年4月1日(日)～平成20年3月31日(月)
- 対象 大森小学校・大森中学校(29人乗り)≡3人
- 山内小学校・山内中学校(48人・55人乗り)≡2人
- 田根森小学校(29人乗り)≡1人

- 報酬 1,010円(1時間)
- 資格 年齢が65歳以下で大型免許を有すること
- 申込期限 2月15日(木)
- 申込み 履歴書と運転免許証、安全運転センター発行のSDカードが無事故無違反証明書を持参してください

- 申込先 市教育委員会教育総務課雄物川庁舎内 ☎2-2151

フロンティア農業者研修生の二次募集について

秋田県果樹試験場と花き種苗センターでは、農業研修生の二次募集をします。希望される方は左記までお申し込みください。

- 研修期間 2年間(平成19年度～20年度)
- 定員 全県で6人(予定)
- 受講資格 ①新たに農業を始めようとする方、または農業で自立しようとする意欲が強く、研修終了後の就農が確実と見込まれる方

講習講座



パソコン講習会

母子家庭の母親と寡婦の方を対象としたパソコン講習会です。

- 期間 2月23日(金)・24日(土)・26日(月)・27日(火)・28日(水)
- 時間 午前9時30分～午後4時30分(定員10人)
- 場所 ふれあいセンターかまくら館(参加費500円)
- 申込期限 2月19日(月)
- 申込先 市福祉環境部子育て支援課(大森庁舎内) ☎26-2113

【訂正とお詫び】

市報よこて1月1日号の掲載内容に誤りがありました。訂正してお詫びします。
■情報12ページの「横手市雇用創出協議会セミナー」と「後三年の合戦役」シリーズ特別展」のタイトルが逆でした。



市報よこて
読者プレゼント
Present!

お便りをくださった方の中から抽選で
横手市の特産品等をプレゼントします。

※当選の発表は商品の発送をもって代えさせて
いただきます
【締め切りは平成19年2月9日(当日消印有効)】

●森のビール (大森)



保呂羽山からの伏流水と
大森産あきたこまちを使用
したさわやかな味の地
ビール。宴会におすすめ
の1升瓶(1800ml)と小瓶
(330ml)をご用意してい
ます。今回は、1升瓶を
2名様にプレゼント。

【提供】休養センター
さくら荘
☎26-2301

●増田特産手造りりんごジャムつめあわせ (増田)

りんご農家のお母さんた
ちのアイデアで生まれ、
地域を代表する特産品。
りんごをはじめ、増田産
の素材にこだわった詰め
合わせ【りんごジャム、焼
肉のタレ(甘口・辛口)、チ
ャツネ】を3名様に。

【提供】アップルファーム
代表 鈴木トメ子さん
☎45-3461



POST CARD

0 1 3 8 6 0 1

お手数ですが
50円切手
をお貼りください

横手市前郷字下三枚橋163

横手市役所
秘書広報課 行

フリガナ

◎ご氏名

◎年齢／ 歳 ◎性別／ 男 ・ 女

◎ペンネームまたはイニシャル

※記入がない場合、実名で記載させていただきます。

◎ご住所

電話 () -

◎ご希望のプレゼントを○で囲んでください

1. 森のビール 2. りんごジャムつめあわせ

PRESENTS PRESENTS PRESENTS PRESENTS PRESENTS PRESENTS

入院中に感じた温もり
横手「紫いもチップ」さん 53歳

3か月間の入院生活を終了しました。入院生活が長いほど医療関係者とふれあいが増え、ほ

みんなの財産です
横手「R・M」さん

仕事を辞めて少し時間が出来たので、図書館を利用しています。そこで気が付いたのですが、借りた小説にペンで書き込んだ

これってもったいない!?
「夢みるおばさん」さん

ごみ収集日にスーパーの袋に入ったごみを持参し、他人のごみ袋を開けて入れていく人がたくさんいます。私もごみ袋3分の2程度で出したところ、開けて入れていくおばさんがいたので、「何で私の家のゴミ袋を開けるの」と聞いたら「もったい

思いやりで住みよいまちに
大森「華月だいすき」さん 21歳

秋田市に遊びに行った時、障害者専用駐車場に、どこから見ても健康そうなおじさん&おばさんが…。そして障害者の方の車は道路脇に。「どうなってるの!」と思わず叫んでしまいましたが…。今、今の若い者は常識

◆モラルは心の内面にあるもので、ルールは努力して守るものではないということ忘れず、自分の行動を振り返ることが大切ではないでしょうか。もっとも、最近「運動のため」と、少し離れた場所に駐車するよう心がけている自分が氣になります

生きていけそう。しばらく一人暮らしをしてみようと決断しました。一人暮らしの会、敬老会めくもり会の方の訪問を受けたり、お弁当や野菜をいただく事もあり、週2回のふれあいバス運行、優しい町に満足しています。いただいたピンクのシクラメンを大切に育てながら、冬を乗り切るつもりです。

かの患者さん達とも知り合いになりました。入院中はベッドの上から立つ事すら出来ず、退院したら〇〇が食べたい、〇〇に行きたい」などと夢を持っていました。そんな時、ある患者さんから市内の温泉の券をいただきました。頑張ったごほうびとして、ぜひ足を運びたいです。

り、本を折ったり、切らした物があり、とても残念に思いました。多くの人が利用する物ですから、もっと大切に扱ってほしいと思います。

ないでしょ」とのこと。この件ももったいないで済むことですか? プライバシーをのぞかれたようで仕方ありません。開けられないよう工夫してもらえませんか。

が無いと言われますが、常識が無いのは若者だけです。若者男女関係なく、常識や思いやりは持つべきではないでしょうか。みんながお互いを思いやり、ルールを守る事が出来れば、もっと住みやすくなると思います。

「私のまちの…」記事を見て
横手「M・K」さん 45歳

市報よこて12月15日号に掲載された「私のまちの市長室」について、各地域からさまざまな意見が飛び交っている様子がうかがわれ、興味深く読ませていただきました。おそらく、これを読まれた皆さんの中には参加者と同じ意見をお持ちの方、別の意見をお持ちの方など、さまざまいらっしゃると思いますが、それを声にして発言できるような積極的なこのような場に参加したいものです。

故郷の盛り上がり期待
平鹿 冬休みで帰省した学生さん 19歳

県外の学校に行ってもうすぐ2年。町の広報紙が家にあっても、以前は気にも止めなかったボクですが、大人になったんでしよう。各地域での懇談の様子に目やり、なんと最終ページまで読み込みました。そして、「読者の声」に写っているツリーにも見覚えが!あの有名な櫛の木光のファンタジーです。今年で19回目ということは、ボクが生まれた時からのイベントか。

健康の駅で心も体も元気に
横手「ものすきさん」さん 62歳

「思えば遠くへ来たもんだ」が好きで必ず最初に読みます。家の近所にも遠くから嫁いできた方がたくさんいます。神奈川県から来た友人は、とても秋田にふさわしい秋田美人さんで、地域の事も一生懸命、私より頑張ってくれている第一の友です。ようこそ秋田の横手の人になってくれました。ありがとうございます。

歌う楽しさを実感
横手 高橋雪雄さん

私の町内で健康の駅がスタートしてから丸1年が経ちました。参加者は20人前後、そのうち男性がたった2人とは心細い限り

地域の支えを受けて
平鹿「S婆ちゃん」さん 76歳

一人暮らしになって8か月。当時は子供の所へでも行くかと思いましたが、周囲の支えで



ようこそ横手へ
横手「のりピー」さん 52歳

「思えば遠くへ来たもんだ」が好きで必ず最初に読みます。家の近所にも遠くから嫁いできた方がたくさんいます。神奈川県から来た友人は、とても秋田にふさわしい秋田美人さんで、地域の事も一生懸命、私より頑張ってくれている第一の友です。ようこそ秋田の横手の人になってくれました。ありがとうございます。

ほのぼの体験をしました
横手「モ」ちゃん」さん 57歳

先日夕方うす暗くなってから、中学生がふざけながら道の真ん中ではしゃいでいました。どうするのかな、この子達と思っていると、サツと道をあげ「こんばんは」とあいさつをしてくれました。素直にかわいいうって思いました。普通の子の心理が分らない世の中でも、この子供たちを信じたいと思いました。

自然の力を感じて
大森「ミツコの母さん」さん 39歳

先日、身をもって自然の手当の素晴らしさを実感しました。原因もなく左甲狀腺がピンポン玉ほどに腫れ上がり、その痛いこと。まだ2歳の子がいるのですぐには受診できず、ジャガイモとシウウガで作る湿布を患部にしていました。発熱しては大変と、我家の万能薬、梅肉エキス、を1日3回飲み、食事は和食、100回噛んで、どくだみ茶を飲み…。5日で完治しました。よもぎだ、スギナだ、柿の葉だと外を見るたびに「ここにも薬が…」と、日々感動の人生です。

このページは読者の皆さんから寄せられた声にふれあう場です。いろいろな声をお寄せください。

です。それにつけても女性は頼もしい。皆さん元気ハツラツ、成熟した?お色気に圧倒されてさしもの男性も形なしです。体操の次は歌の時間。12月は忘年会ということで、特別にギター伴奏の応援があり、歌声に一層はすみ付き、歌う楽しさを今さらながら実感しました。



TAKUMI
たくみ

【其の十五】

碁盤作り

越後谷 六郎さん (66歳・横手)

1本1本に刻まれた情熱

自宅2階の作業部屋に足を踏み入れた瞬間、囲碁に対する巧の情熱が伝わってくる。中央に置かれたパソコンはインターネットでの対局や情報収集に。テレビの専門番組のチェックも欠かさない。その中でも目を引くのが、所狭しと置かれた数面の碁盤。

「手を出さずにいられなかった」みずから碁盤作り（目盛り）を始めて約30年。自身4段階として各種大会で活躍する巧は、本手にこだわり「対局中は会話を慎む」という教えをかたくなに守っている。

手探りで始め、碁盤店や看板店ものぞいた。一般に、日本刀を使う太刀盛りなどが知られるが、巧が選んだのは製図用の特殊ペンである「カラス口」。対局では王道を貫く巧だが、ここでは「太さ、輪郭、盛り」という目盛りの絶対条件を満たすための柔軟な発想が光った。作業中は、精神を集中させるため電話の電源を切るという。

「紙と鉛筆があれば碁盤の目は書けるし、パソコンだってある。でもそれじゃ味気ないでしょう。囲碁は友達かな」と語る巧の碁盤には趣味の域を超えた熱い思いが刻まれている。



昭和15年、高梨村（現在の太田市高梨）生まれ。中学生の頃に父の教えで囲碁と出会う。高校を卒業後に就職し、転勤のため県内を渡り歩いた後に定年退職し、現在に至る。



アマチュアならではの柔軟な発想

思えば遠く来たもんだ

No.15

平鹿地域

柿崎

敬江さん (58歳)



東京都大田区出身。義父、義母、夫、長男との4人家族

東京都大田区出身の敬江さんは、夫の太郎さん（平鹿町出身）が東京の会社に勤務していたときに知り合い、21歳で結婚。それを機に平鹿町での生活をスタートさせ、47年目を迎えました。

「秋田には高校生の時、東北一週旅行をした際に来たことがありますが。結婚した当初は毎日スキーができる、などと無邪気に喜んでましたね」と笑顔で語る敬江さん。結婚してからは夫婦で農業に携わりましたが、太郎さんが農協に勤務したため、敬江さんがその跡を引き継ぎました。



つながりの密接さに最初はとまどいもあったと話す敬江さん。しかし「農業について全くの素人だった私がこれまでやってこれたのは、農家の皆さんに親切に教えてもらったおかげです。困ったときは皆で助け合うという気持ちは、本当にありがたいですね」と感謝の気持ちを表します。

現在は、1町歩近いビニールハウスで花を栽培する日々。一年を通して、菊やテッポウユリ、ひまわりなどの大好きな花に囲まれ、時にはフラワーアレンジメントの講師をしたりと、横手の農業を支える一員として活躍されています。

読者プレゼントにご協力を

市報よこてでは、市内業者の皆さんへ「読者プレゼント」へのご協賛をお願いしています。

横手市内にあるたくさんの特産品や名産品を市報を通して市民の皆さんに知っていただくと共に、市内全世帯に配布される広報紙を活用した商品の宣伝に、ぜひ市報よこてをご活用ください。

■連絡先 秘書広報課：広報広聴担当(☎35-2162)

編集後記

◆平成19年がスタート。秋田わか杉国体開催の年。昭和36年に開催された前回大会。温かい県民性を発揮した取り組みは「まごころ国体」として、参加者の絶賛を浴びた。温かい心とおもてなしならどこにも負けない横手人。開催が待ち遠しい。(卓)

◆取材も無く、雪なげもいらぬ、久しぶりにゆつくりとした年末年始。家から出ることも無く、テレビを見ながら、食べだらない日々の繰り返し。気が付くと、ジーンズのチャックが開まらなくなっていた。(克彦)

◆年末年始の風物詩といえば高校サッカーやラグビー、そして箱根駅伝。スポーツで生まれるドラマは、私たちに大きな感動を与えてくれます。いよいよ今年開幕するわかしん国体が、冷え切った世の中を熱くすることを願ってやみません。(孝春)

◆遠方の知人に「雪は？」と聞かれる度に「まだこれから」と答えています。たが、これほど雪の少ないお正月も珍しい。去年の大雪のせい？温暖化のためでしょうか。降らないと急にスキがしたくなるので、妙に気になるこの頃です。(小百合)

◎お便りをお寄せください。

【十文字地域】

市指定有形文化財(史跡)

しょう じょう

みち しるべ

猩々の道標

酒がめに「猩々乃 左ハ湯沢 右よこ
て うしろハます田 まへハあさ舞」と
刻まれた「猩々の道標」。

文化8年(1811)、羽州街道と増田
(浅舞)街道の交差する所(現在の十文
字駅前交差点)は、一面の草原でした。

このため、湯沢・横手・増田・浅舞に通
じる細道を行く人々はしばしば踏み迷い、
この難儀を救うため、増田地域の通覚寺
の住職天瑞師が、猩々の酒がめに方角と
地名を刻んだ道標を建てました。

その後、文化14年(1817)の春に伊
太郎という者が、この交差点に一軒の家

を建て茶屋を営むと、やがて家々が建ち
始め、交通の要衝として栄えてきました。

猩々の道標は、高さ87cm、幅43cmで、
謡曲に登場する「猩々」の姿を形どり、
酒がめに前に右手に柄杓、左手に盃を持
っています。

十文字地域の発展を見つめ続け、無か
ら発展した十文字の象徴である猩々の道
標。いたみがひどくコンクリートでかな
り大きな補修が加えられ、現在は十字館
に移されて保管・展示されています。

猩々の道標は、昭和57年に十文字町の
有形文化財(史跡)に指定されています。

次代に継ぐ我らが至宝

よくて遺産

No.15

THE YOKOTE HERITAGE